

## 1. 研究課題名

アジア太平洋地区における肝炎・肝癌の現状と治療に関する調査研究

## 2. 試料・情報

### (1) 利用目的

現在、肝臓がんの約 75%はアジアで発生しておりアジア太平洋地域における主要な公衆衛生問題であると言えます。B 型及び C 型肝炎ウイルスの治療が進むとともに糖尿病や肥満などの他の危険因子が将来の重要な要因となる可能性があります。APASL（アジア太平洋肝臓学会）は、肝臓がんの背景、疫学、診断、治療、予後を追跡し、この地域各国数万の肝臓がん患者さんの診療情報を集め問題点を検討することです。この地域各国数万の肝臓がん患者さんの診療情報を集め問題点を検討することです。アジア太平洋地域の肝臓がんに対する医療問題を検討し、予防、診断、治療成績の向上に寄与したいと考えています。研究期間は承認日から 2028 年 12 月 31 日までです。

### (2) 利用項目、提供方法

本研究は、2013 年 1 月 1 日から 2027 年 12 月 31 日の間に、当院で肝細胞がんの診断を受けられた方の診療記録を利用して行います。利用する情報は、初回診断時年齢、性別、身長、体重、肝機能データ、腫瘍の大きさ・数、治療法、治療効果、予後などで、利用を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

本研究は多機関共同研究（研究代表者：小俣政男 所属：山梨県立病院機構）であり、当センター（院長 中島淳）は山梨県立中央病院（研究代表者：小俣政男）に、診療記録から得られた情報を提供します。その際、個人を識別できる情報は削除いたします。

### (3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 消化器内科 吉田英雄（研究責任者）、谷口博順、内野康志  
研究代表者：小俣政男（所属：山梨県立病院機構）および本共同研究に参加している、国内およびアジア太平洋地域の医師

### (4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

## 3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL: 03-3400-1311 FAX: 03-3409-1604

担当: 消化器内科 吉田 英雄